

学校の安全対策のためのご提言

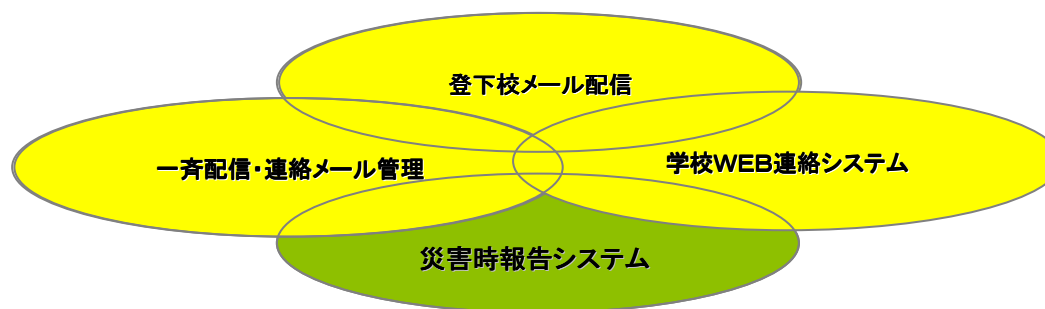
登下校メール配信の活用
一斉配信・連絡メールの問題点
学校WEB連絡システムの活用
災害時報告システムとの連動

ROIS NPO-ROIS
特定非営利活動法人 ロイズ
Research Organization of Information security & Safety at school

<http://npo-rois.org/>

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-17-9 サンデンビル2F
連絡先 コンサルティング担当 松田・黒田 電話番号:03-6416-0833

■NPO法人ロイズでは、東日本大震災後の、学校の安全対策強化の具体策として、次のような仕組みを推奨しています。



□震災が起きた時、「子供が学校にいるのか」「学校にいないのか(下校途中なのか)」が保護者の方が真っ先に確認したいことです。

その確認がなかなかとれないなど、今回の震災のタイミングが下校時間近辺であった学校では、交通網のストップに加え、連絡網の混乱が拍車をかけ、対応に追われ、学校側の連絡体制の是非が問われました。保護者にとって、直下型の地震などの震災時に、「子供がどこにいるのか」が分からないことは、**通学エリアの広い私学**に通わせる上で重要な問題であり、学校側の対策を求める声が多くなっています。

□私学の保護者にとって、震災時、子供が学校の中にいるのか、出てしまったのか、それから先の初動が違ってきます。

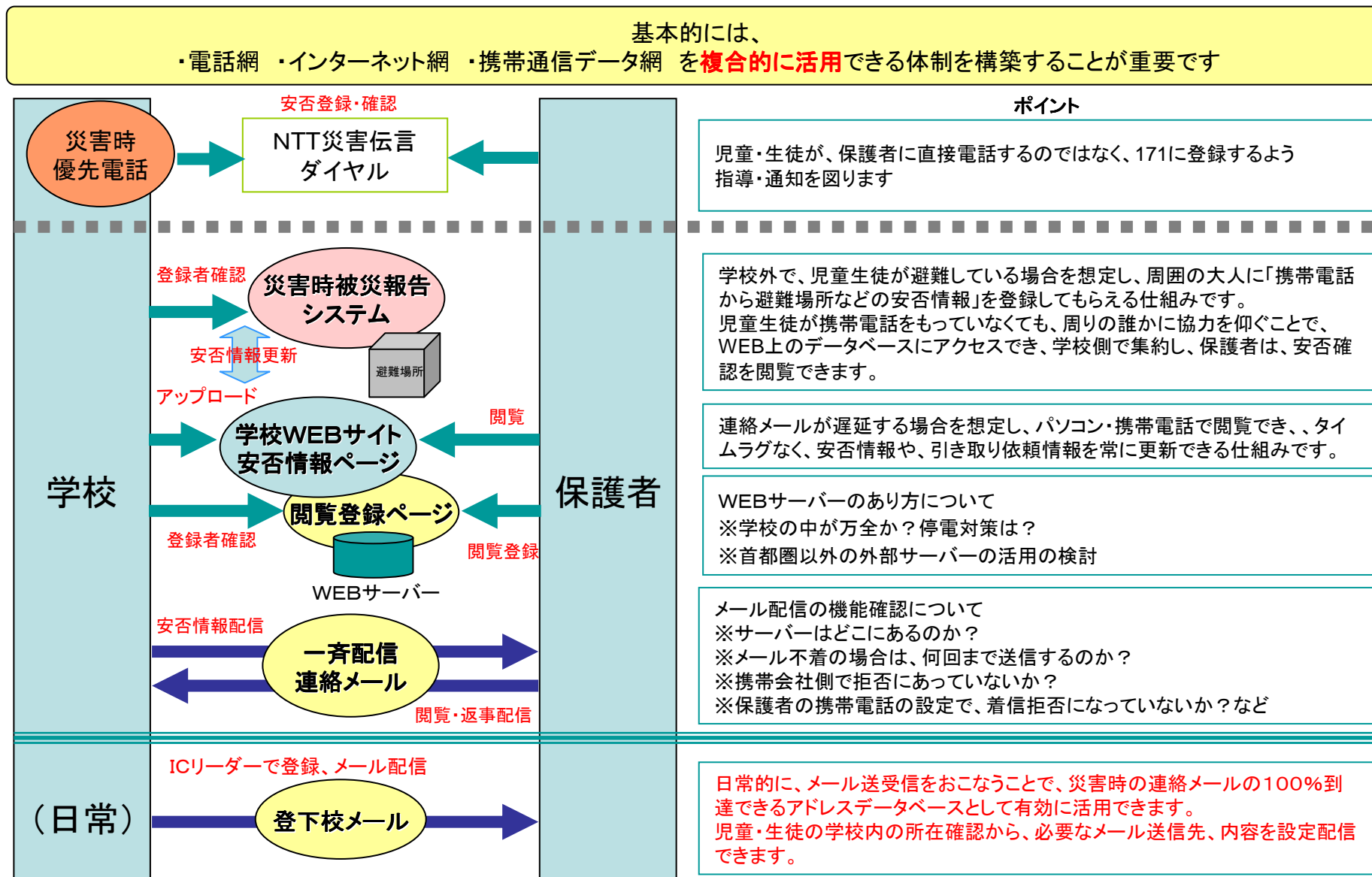
ICカードによる登下校管理システムを導入している学校では、震災発生時に、学校を出ていないのか、出た後なのか保護者にメールで連絡されたため、第一段階の確認が出来ます。さらに、下校した時間が何時何分とわかることから普段の通学ルートから見てどのあたりにいそうだということが想定できます。学校側でも、誰が何時に下校したかが把握できることで、次の対策を取ることも可能です。(最寄の駅に迎えにいくだけでなく、途中駅も探すなど)3月11日の時には「ココセコム・どこいるか」や携帯の**位置検索機能は、ネットワーク環境のマヒで、ほとんど機能しない結果**でした。災害時のネットワーク環境で最も有効であった**WEBサイトとICカードによる登下校管理システムとの連動を図り、「災害時報告システム」によって、子どもがどこに避難しているのかを把握**出来ます。また、下校メールが来てなければ、学校の中にいると想定でき、まずはひと安心といえます。学校側でも、学校内にいる児童・生徒が確認できますから、すぐに学校で保護している児童生徒の保護者向けにメールで連絡できます。

□学校は、通学エリアが広い保護者の不安を少しでも少なくする努力が必要であり、直下型の地震などの災害時には、大規模な停電が想定され、学校の非常電源確保と共に、携帯基地局の蓄電能力から見て、3時間以内に保護者との相互連絡を取れる体制を作ることが重要です。

□携帯電話が通じない、電子メールが遅延する中、インターネット(携帯サイト)が連絡手段として有効でした。登下校連絡メールシステムに、「学校WEB連絡システム」と「災害時連絡システム」を活用することで、災害時に必要な保護者との連絡体制を整えることができます。

学校から保護者への連絡手段として、①電話連絡網、②連絡メール、③学校HPや携帯サイトがありますが、①は災害時には全く機能できなかったといえます。また、連絡メールは、保護者一人ひとりに必要な情報をやり取りすることが出来ますが、保護者(着信元)がいる基地局の処理能力によっては、遅延が起きています。③パソコンからもケータイからも閲覧できるサイトに逐次情報をアップし、保護者が閲覧したことを登録する仕組みで、タイムラグなく、情報のやりとりができます。

■「学校から保護者」へのあるべき連絡手段について



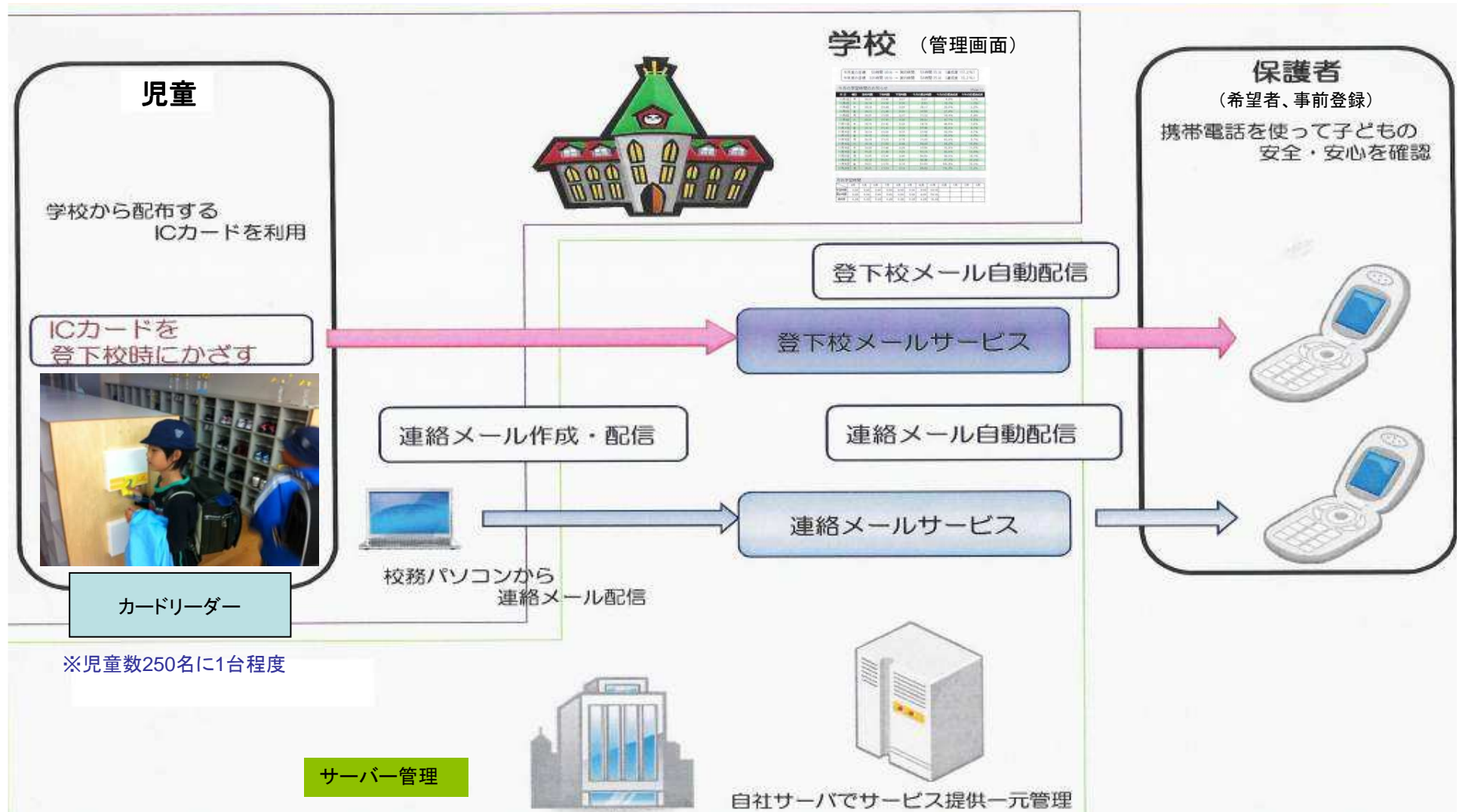
上記に加えて、局地的な停電で学校が停電となった場合や局地的なネットワークの損壊した場合の想定としてどこまで備えるか？

・自家発電設備 ・蓄電池 ・i-PADなど ・衛星携帯/通信ターミナル など

登下校連絡メール機能

- 本システムを導入することで、児童・生徒の学校所在が明確になります。
それにより、学校内と学校外での責任範囲が明確になります。
(登下校中の安全性は、学校・保護者・地域との連携で高める必要があります)
- ICカードをカードリーダーにタッチをすることで、児童の登下校状況
(児童・生徒が校内にいる・学校を出た)を、一括で、確認・把握できます。
- 遠足、郊外学習などで、集合して出かける場合の出欠確認に活用できます。
- 夏季休暇時の登校、プールなどでも児童の所在確認に活用できます。
- 3名まで保護者へメールで登下校をお知らせします。
- 緊急時などの一斉配信メールとして活用できます
- 日常的には、学年別、クラス別、クラブ活動別、個人宛などの連絡メールとして活用できます。
- 学校様のお名前や校章を入れたり、オリジナルデザインカードを作成いたします。
(既存のSUICA・PASMOでもご利用いただけます。)
- クラスの出席簿管理にも応用可能です。
担任の先生による生徒の出席確認、日々、月ごとの集計ができます。
- 学校の安全管理を啓発するNPO法人ROISの会員校様限定の低価格設定です。

登下校連絡メール機能と連絡メール機能



児童にICカードを配布し、校内にICカードリーダーを設置。
児童が登下校時にリーダーにICカードをかざすことにより、PC上で登下校状況が把握できる。
保護者の登録したメールアドレスにリアルタイムに登下校時間を知らせるメールを送信。

登下校連絡メール機能

ICカードは、オリジナルデザイン可能
(導入年度、@750円にて配布)



【ICカード】

①カード仕様

- ・I CODE-sli(等のISO15693準拠カード)、Mifareカードを使用
- ・カードにはカード番号のみを内包し、個人情報は一切ライティングしない。

②運用

- ・カード上に貴校オリジナルデザインをシール印刷したものを必要数作成

(既存ICカードでも代用可能)

※既存のSUICA・PASMOを利用する場合、登録・設定、年次更新登録を含みます。



ハードウェアの仕様

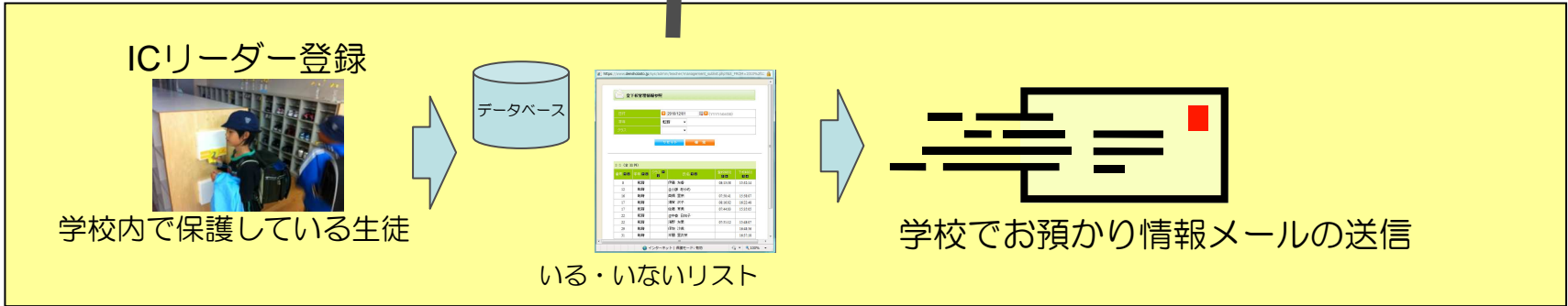
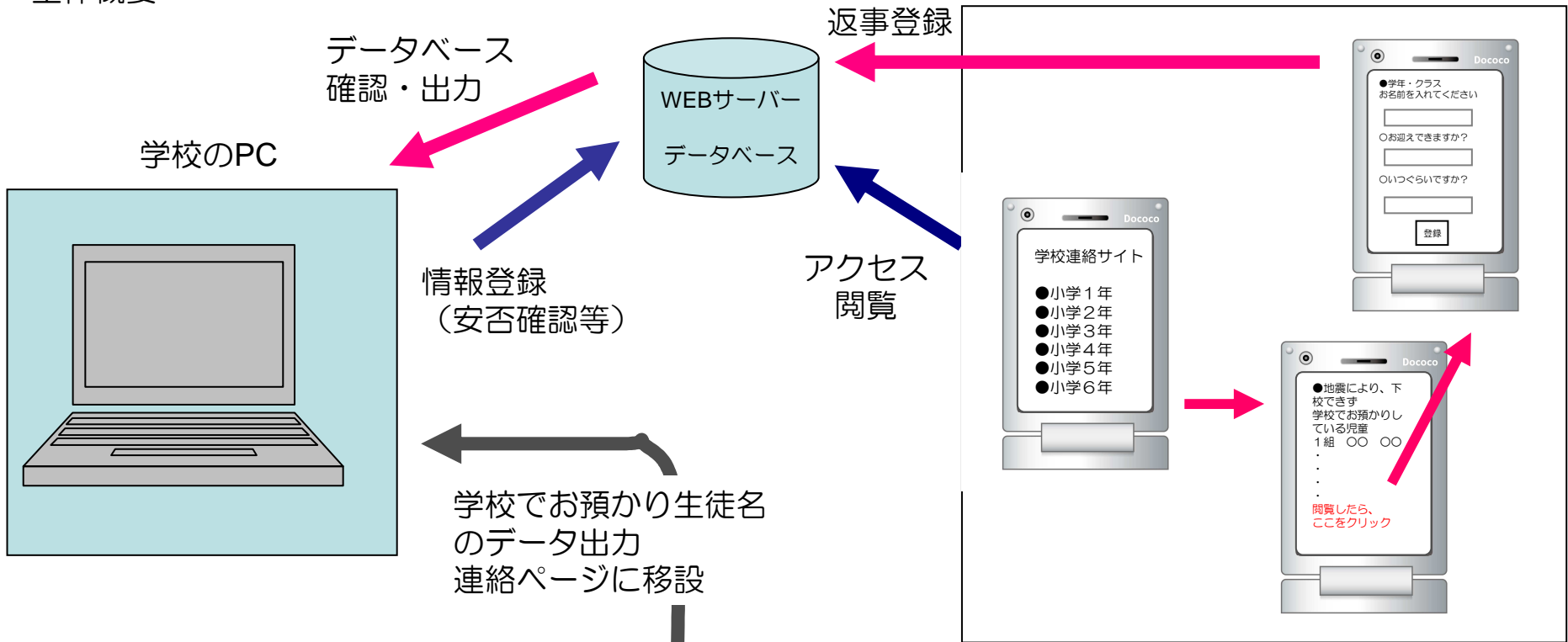
- ・I CODE-sli(等のISO15693準拠カード)、Felicaカード、Mifareカードいずれかの情報読み取り機能
- ・LANやパソコンを介さず、データ通信カードを使って単独でサーバに情報発信する、
- ・カードの識別時間は1秒以下
- ・音声でカード認識を確認できる機能

機能仕様

- ・カード読み取り時にカード番号、読み取り時刻情報を収集し、発信

学校WEB連絡システムとの連動

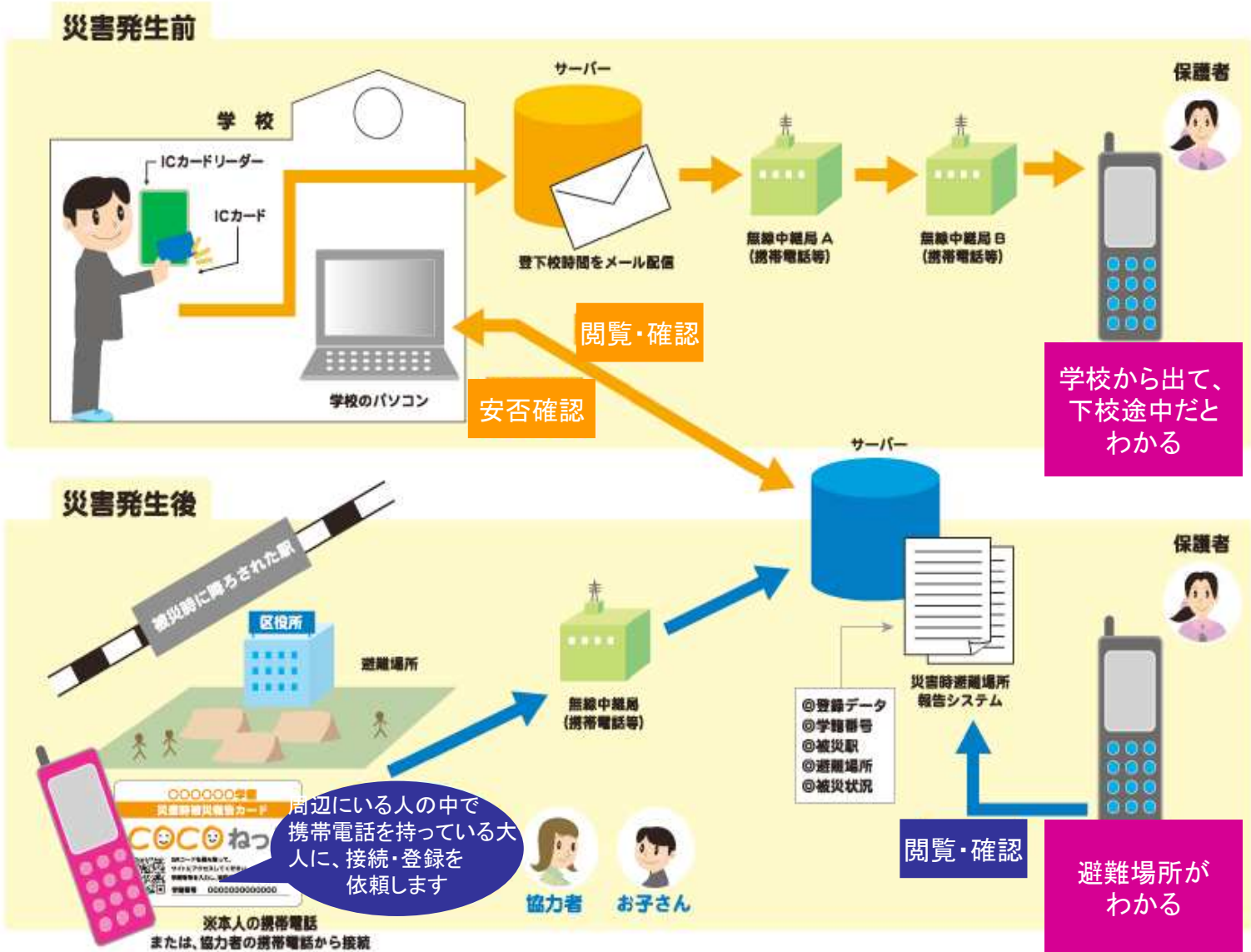
全体概要



登下校管理システム・連絡メール配信・受信との連動

災害時被災報告システムとの連動

※災害発生時に、学校外にいて、
電車が止まって、避難場所
に避難したら



導入費用について

NPO法人ロイズ 会員校限定(全て税別)

本システムは、学校の負担なしで導入可能です。受益者負担で、保護者にご負担いただきます。生徒数によって、月額の利用料が異なります。

目安として、

生徒数	300名以上	生徒1人あたり	420円程度/月
生徒数	500名以上		300円以下程度/月
生徒数	700名以上		250円以下程度/月
生徒数	900名以上		200円以下程度/月

※初期設定費（リーダー設定工事等）は弊社が負担いたします。

※設置するICリーダー数は、生徒数250人当たり1台を基本としています。

※学校様の要望によって、ICリーダー数を増やす場合、単価が変わります。

※ICカードは、学校オリジナルデザインです。

（1枚当たり750円。導入時に全生徒分、次年度以降新入生分が必要です）

□「登下校メール」「連絡メール」「学校WEB連絡システム」「災害時被災報告システム」を全て利用いただく費用となっています。

※ご要望によって、単独利用も可能です。

<単独利用の場合>

- 連絡メールシステム 生徒1人あたり 54円/月
- 学校WEB連絡システム 1学校 年間170,000円
- 災害時被災報告システム 生徒1人あたり 20円/月